

NAS、新会長にマルシア・マクナット氏を選出（2月16日）

米国科学アカデミー（National Academy of Sciences : NAS）は2月16日、NAS 新会長に科学学術誌「サイエンス（Science）」編集長のマルシア・マクナット氏（Marcia K. McNutt）が選出されたことを明らかにした。また、会計にはテキサス大学オースティン校（The University of Texas at Austin）コンピュータサイエンス・統合生物学部教授のウィリアム・プレス氏（William H. Press）が新たに選出された他、NAS 運営委員会委員には、国立精神衛生研究所（National Institute of Mental Health）内部研究プログラム（Intramural Research Program）科学ディレクターのスーザン・アマラ氏（Susan G. Amara）ら4人が新たに加えられた。これら新規役員は7月1日に就任し、マクナット氏の任期は6年間、プレス氏の任期は4年間、そして、運営委員会委員の任期は3年間となる。マクナット氏は、米国地球物理学連合（American Geophysical Union : AGU）を始め、米国科学振興協会（American Association for the Advancement of Science）、米国地質学会（Geological Society of America）、及び、国際測量学会（International Association of Geodesy）などのフェローで、NAS 会員には2005年に選出された。

National Academy of Sciences, Marcia McNutt Elected 22nd NAS President; New Treasurer, Council Members Chosen
<http://www.nasonline.org/news-and-multimedia/news/feb-16-2016-NASselection.html>